

第7回ECEプログラム委員会幹事会

議事録

日時: 平成23年11月25日(金)10:00-12:00

場所: 日本工学会会議室

出席者: 川島一彦、小松生明、高草木明、長井寿、山本誠、四戸靖郎(事務局)

配付資料

資料 7.1 CPD 協議会 ECE プログラム委員会名簿

資料 7.2 第6回 ECE プログラム委員会幹事会議事録(案)

資料 7.3 ナノテク製造中核人材の養成プログラム(秋永)

資料 7.4 ECE プログラム認定証の例

資料 7.5 NISMS イブニングセミナー(先端計測とナノ物質 ECE プログラム)の開催報告(長井)

資料 7.6 平成23年度 NISM イブニングセミナー—先端計測とナノ物質 ECE プログラム—(長井)

議事

1. 前回議事録の確認

資料 7.1 に基づいて、第6回 ECE プログラム委員会幹事会の議事録を確認した。

2. ナノエレクトロニクス ECE プログラムの進捗状況

資料 7.3、資料 7.4 に基づいて説明された後、以下の追加説明及び議論を行った。

(1) 平成23年9月1日に日立製作所本社において秋永、川島及び四戸の立ち会いの下に、中村道治ナノエレクトロニクス ECE プログラム推進委員会委員長に4名の受講者に対する ECE プログラム「ナノテク製造中核人材の養成プログラム—ナノエレクトロニクス—」認定証にサインをしていただいた。認定証の日付は産総研が受講者に受講証明を出したと同じ日とすることとし、平成23年6月9日とした。

(2) 平成22年度と同様に、本年度にも日本工学会 CPD 協議会の資金的負担により講師2名(木全政弘氏、及び、池原毅)を派遣した。これにより、当初の11コマの講義(1コマは90分)を13コマとすることができた。

(3) 講義は平成23年8月30日～9月3日に産総研筑波センター会議場にて開催された。産総研での実習も終え、9月中に現場自習を終えることになっている。

(4) ナノエレクトロニクス ECE プログラム推進委員会に ECE プログラム幹事会から、川島、持田の2名が参加する。この他、CPD 協議会から2、3名の委員に加わってもらうこととし、人選を CPD 協議会広崎膨太郎会長に依頼する。ECE プログラム幹事会からの委員の参加は ECE プログラム幹事会との意思疎通をはかるためであり、CPD 協議会からの委員の参加は、CPD 取得者やその雇用者のニーズを反映することに貢献するためである。

3. 先端計測とナノ物質 ECE プログラムの進捗状況

資料 7.5、資料 7.6 に基づいて説明された後、以下の追加説明及び議論を行った。

(1) 第 1 回先端計測とナノ物質 ECE プログラム推進委員会が平成 23 年 10 月 7 日(金)に岸輝雄推進委員会委員長の出席の下に開催された。

(2) 平成 23 年度の講義は 10 月 28 日、11 月 25 日、12 月 16 日、1 月 27 日、2 月 17 日、3 月 23 日の 6 回である。

(3) 最先端の情報を講義するため、公表されていない内容も使用していることから、受講者に PPT のハンドアウトをコピーして渡すことを控えている。こうした問題は、より先端分野を扱うほど顕著になってくる。このほか、学術情報総合センターで講義しているため、コピーに要するコストも関係している。

(4) 30 名程度が講義に参加し、10 名程度がゼミに参加した。参加者の中には講師になれるようなハイクラスの方がいる。

(5) 費用は NIMS 負担となっているが、先端計測とナノ物質 ECE プログラム推進委員会の議論では、将来は有償にすべきであるとの意見が出されている。技術者は自分のキャリア向上に自分で投資する必要があるという視点からは当然なことであるが、数十万円に達する費用を自己支弁できるかという点と困難なところに ECE プログラムの問題点がある。

(6) 川島幹事長から、先端計測とナノ物質 ECE プログラム推進委員会に ECE プログラム幹事会から持田委員、山本委員にご参加いただくように依頼したことが報告された。ナノエレクトロニクス ECE プログラム推進委員会と同様に、この他、CPD 協議会から 2, 3 名の委員に加わってもらうこととし、人選を CPD 協議会広崎膨太郎会長に依頼する。

4. 今後の ECE プログラムの開発計画

広崎委員の後任として但田委員に参加していただけることとなったため、スマートグリッド ECE プログラムの立ち上げを担当していただく。また、環境 ECE プログラムは対象が広すぎるため、いくつかに分けて検討する。

5. ECE プログラムのポスターの作成

ECE プログラムの知名度が低いため、ECE プログラムの特徴、メリット等の認識度を高めるため、ポスターを製作することとする。高草木委員の学生等、デザインの素養のある学生に制作協力を求められないか、高草木委員に検討を依頼した。

6. CPD 協議会講演会

平成 24 年に CPD 協議会として講演会を実施する計画があり、別途、講師等を調整する。

6. その他

次回は平成 24 年 2 月頃とし、別途、日程調整の上、定める。